～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日　令和５年６月２日＜第４号＞
発行元　東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
電　話　０３－５８０２－０３１８
ホームページ　https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/10jidai/yosei/index.html

●第７回教科等指導力養成講座

令和５年４月 15 日（土）国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、第７回教科等指導力養成講座を実施しました。大久保主任指導主事からは、新年度を迎え「春季面談で明らかにした伸長期の課題や目標を意識して特別教育実習に取り組んでほしい」との話がありました。

【小学校・特別支援学校コース共通の講座】

○　「体育１、２」

２つの体育室に分かれ、「鬼遊び（小学校第２学年）」と「体の動きを高める運動（小学校第５学年）」の実技（模擬授業）を通した講座を受講しました。鬼遊びにおいては、運動遊びに意欲的でない児童への支援方法について絵図で提示したり、チーム編成を工夫したりすることの大切さを学びました。体の動きを高める運動では、運動の目的や課題を明確にして、楽しく運動を行うことの大切さを学びました。

児童役や教師役の体験を通して学ぶことで、実際の授業において大切にすべきことを、実感を伴って学ぶことができました。体育授業における教師の働き掛けや言葉掛けについて協議し、体育の具体的な授業づくりへの理解を深めることができました。

「体育１、２」

○　「小学校の特別支援教育」

福生市立福生第五小学校　泉田　巧人　校長より、小学校における特別支援教育をテーマとした講義がありました。塾生は、「話が聞けない」場合を例に、児童・生徒が苦手なことと得意なことについてアセスメントを行い、支援を計画していく過程を学びました。班ごとの協議・演習では小学校コースと特別支援学校コースが合同で、仮のケースの検討を行い、実践的な判断力と対応力を磨きました。

「小学校の特別支援教育」

○　「教師の魅力と責任２」

小野統括指導主事から、服務事故防止についての講義がありました。班ごとの協議・演習では、講義で扱った「個人情報の適切な管理等」、「体罰等の禁止」、「私的なメール、SNS 等の禁止」、「交通事故の防止」等のテーマから１つを選び、掘り下げて話をしていくことで、「どんな場面で」、「どんな課題となる状況が想定されるかきました。」を考え、教師の地方公務員としての服務上の義務や、自分と大切な人を守るための取組や行動を具体的に考えることができました。

「教師の魅力と責任２」

◆塾生の感想から

○　体育の講座では、細かい指示を出さずに抽象的な指示をすることによって、自然と児童が対話する場面が増えることを学んだ。特別教育実習でもこの抽象的な指示と対話的な授業を生かしていきたい。

○　体育での講座や、特別支援教育に関する講座から、児童の発達、実態を知り、「個に応じた指導」を考えていくことは、特別支援学校のみではなく、すべての校種において重要であると改めて感じた。特別支援学校において、重要視される「個に応じた指導」を充実させることができるように、研鑽していきたい。

○　「教師の魅力と責任２」の講座では、分かっていても自分が起こすかもしれないことから、常に自分の言動に気を付けていきたい。また、常に見られていることを意識していきたい。

○　学び合う楽しさが講座を行うごとに増している気がする。班の中はもちろんのこと、班を超えた繋がりも多くなり充実している。

●第８回教科等指導力養成講座

令和５年５月 20 日（土）東京都教職員研修センターにおいて、第８回教科等指導力養成講座を実施しました。小野統括指導主事からは、移動の際の危険個所の確認や体験前後の指導等、「校外学習等における引率者の視点で講座に臨むこと」とのお話がありました。

「理科２」

【小学校コースの講座】

○　「理科２」

理科室の講義・演習がありました。事前課題（動画）を見て理科の実験・観察で大切なことを予習し、実際に実験を行うことで実験実施の際の留意点について理解を深めていきました。水の入った３種類の容器をガスこんろで温め、沸騰温度や時間の微妙な違いに気付くことで、実験器具の選択も結果に大きな影響を与える要因であることを確かめていました。

児童の学習活動を想定しながら、時間や温度の記録や動画の撮影等の役割分担を行いながら実験を行うことで、安全管理や予備実験の重要性等について学ぶことができました。

「学校生活支援シート」

【特別支援学校コースの講座】

○　「学校生活支援シート（個別の教育支援計画）」

東京都教職員研修センター教育経営課　原川健一郎統括指導主事から、学校生活支援シートの作成及び活用についての講義・演習がありました。

保護者と面談する際の事例検討等を通して、計画的な支援のための情報収集の実際について学ぶことができました。

「TGG での英語体験」

【両コース共通の講座】

○　TOKYO GLOBAL GATEWAY（TGG）での英語体験

楽しみながら英語を学ぶ体験をしました。テレビ番組の制作等を行いながら、正しい英語を話すことよりも、気持ちや様子を相手に伝えることを意識することが大切であることをネイティブのスタッフから学んでいました。

◆塾生の感想から

○　予備実験を行うことで、「無理のない安全な観察・実験」を実施できることを学んだ。

○　学校生活支援シートは関係機関と連携して作成することが重要だと改めて感じることができた。実習校での取組と学校生活支援シートを照らし合わせてみたいと思った。特別支援学校では英語があるところは少ないが、今日の体験を通して英語を話すことができるという自信につながった。「成功体験」を味わうことの意味を体感することができた。

○　理科の実験と TGG に共通していることは、どちらも「体験することを通して学ぶ」ことが深い学びにつながるということだった。楽しく体験することで、理科であれば「どうしてこうなるんだろう」「こういう実験をして調べてみたい」という思い、外国語であれば「○○は英語でなんて言えばいいんだろう」「英語で話せるようになりたい」という思いを児童がもつことにつながると思う。

○　TGG では、英語の学習だけでなく、自分が引率する立場だったらということも考えながら活動することができた。

●公開講座の開催

令和５年５月 20 日（土）に公開講座を開催しました。２～４年生の 38 人の学生に参加していただきました。理科の講座体験では第４学年の水の温め実験を動画で見ながら、具体的に理科の問題解決の学習過程を学びました。特別の教科道徳の講座体験では主発問を考える演習を通し、道徳科の授業づくりの基本を学びました。また、人事部選考課や東京教師養成塾事務局による入塾に関しての説明や、個別相談を実施しました。